

北海道立北方建築総合研究所 NEWS LETTER

北方かわらばん

Mail Magazine VOL.6 2009/04/30

「北方かわらばん」は、北海道立北方建築総合研究所が発行しているメールマガジンです。ホームページ等で配信登録された方にお送りしています。アドレスを登録した覚えのない方、登録内容の変更、配信停止は【管理者からのお知らせ】をご覧ください。このメールアドレスは配信専用のため、返信できませんのでご了承ください。

※MSゴシックなどの等幅フォントでご覧ください。

今月号のトピックス

第6号の内容はこちらです。

■イベントのお知らせ

平成21年北方建築総合研究所調査研究報告会（旭川）を開催します

■今回の特集記事

平成21年北方建築総合研究所調査研究報告会プログラム

■北総研からのお知らせ

防耐火業務の拡充を目指し、性能評価室を新設

イベントのお知らせ

■【平成21年北方建築総合研究所調査研究報告会（旭川）を開催します】

平成21年の調査研究報告会（旭川）を平成21年6月8日（月）、6月9日（火）の2日間、当研究所において開催いたします。この報告会では、平成20年度に終了した全課題について発表を行うほか、北海道建設部住宅局建築指導課による北方型住宅ECOについての講演、当研究所鈴木主任研究員による改正省エネルギー法に関する話題提供などを行う予定ですので、ぜひご出席く

- 1 1 : 1 0 ~ 寒中高強度コンクリートの強度増進に関する研究（谷口）
- 1 1 : 3 5 ~ 自己修復コンクリートの実用化（谷口）
- 1 2 : 0 0 ~ 休憩
- 1 3 : 1 0 ~ 海外調査報告 1（高倉・村田）
- 1 3 : 2 5 ~ 海外調査報告 2（鈴木・北谷）
- 1 3 : 4 0 ~ 高性能断熱材を使用した新世代高断熱壁体の開発（立松）
- 1 4 : 0 5 ~ 基礎断熱工法の設計情報構築とグラスウールの適用に関する研究（立松・伊庭）
- 1 4 : 3 0 ~ 寒冷地における木質パネル住宅のゼロエネルギー化に関する研究（月館）
- 1 4 : 5 5 ~ 住宅用燃料電池コジェネレーションシステムの寒冷地対応に関する研究（月館）
- 1 5 : 3 0 ~ 住宅換気システムの衛生に関する基礎的研究（村田）
- 1 5 : 5 5 ~ 高性能熱交換型換気装置の開発（村田）
- 1 6 : 2 0 ~ 湿度調節と熱回収機能を有する低環境負荷型住宅・換気システムの開発（福島）
- 1 6 : 4 5 ~ 自然換気機能を備えた高機能換気部材の開発とその適用に関する研究（福島）
- 1 7 : 1 0 ~ 閉会挨拶

※※※

お申込方法及び詳しい内容につきましては、当研究所ホームページをご覧ください。
http://www.hri.pref.hokkaido.jp/090608_09asahikawa.html

なお、調査研究報告会（札幌）につきましては、9月頃の開催を予定しております。詳しい内容が決まり次第、改めてご案内いたします。

=====

北総研からのお知らせ

=====

■【防耐火業務の拡充を目指し、性能評価室を新設】

当研究所では、昨今の耐火偽装問題を受け、増加している性能評価業務に対応するため、平成21年4月1日から新たに性能評価室を新設しました。

性能評価室では、性能評価業務の受付から試験、性能評価書発行のほか、企画指導室で行っていた依頼試験受付業務も移行し、全ての試験受付業務を性能評価室で行っています。性能評価室新設に伴い、これまで防耐火構造の試験を行っていた安全科学科は廃止となりました。

依頼試験、性能評価業務のさらなる質の向上を目指していきますので、よろしく願います。

企画総務部性能評価室

0166-66-4238, 4239 (直通)

info@hri.pref.hokkaido.jp

※※※

【編集後記】

平成22年度の独法化まで、いよいよ1年を切りました。22の試験研究機関を1つの地方独立行政法人（以下、法人）に統合し、職員数1,400人の巨大な研究機関が誕生します。今後、組織や研究制度についての制度設計の検討も本格化し、近々、法人の概ねの“姿”を示すことができると思います。

さて、法人化に当たっては、試験研究機関の“あるべき姿”として「総合力の発揮」、「自律的な運営」、「外部との連携」、「効果効率的な運営」を掲げています。果たして、こうした“あるべき姿”を実現することができるでしょうか。「総合力」や「外部連携」については（そもそも独法化しなくても可能ですが）、法人本部に企画・連携部門を設けることでコーディネート機能を強化すべく組織検討しています。また、「効果効率」の名の元の経費節減も（これも独法化に関わらず取り組むべきですが）、組織集約で実現しようとするものです。

そして、もう1つ「自律的な運営」です。新たな法人は人件費が圧倒的に大きく、いわゆる経済的に自立することは財政構造上不可能です。ここでの「自律」の意味は、柔軟に活動できる仕組みのことであり、例えば、的確な研究対応、迅速な社会還元、柔軟な人事や組織機構により機動的な研究・普及活動を行うことです。

こうした自律的な活動のためには、新法人としての総合的な普及事業も必要ですが、これまで各研究機関が独自で行ってきた普及活動についても継続していくことが必要と考えます。このため、北総研においてもこれまで行ってきた研究報告会や研究成果の普及、HPによる広報活動なども、今後とも継続していくことになるでしょう。そして、このニュースレターも重要な広報活動の一環です。内容の充実を図りつつ、これまで同様皆様方に北総研の活動をお届けしたいと思います。

(T)

=====
管理者からのお知らせ
=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記のアドレスより購読解

除の手続きを行っていただくか、メールにてお知らせください。
登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。
メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・解除はこちら

<http://www.hri.pref.hokkaido.jp/provide/mail.html>

変更・解除の場合は、備考欄に「変更」または「解除」と記載してください。

■各種お問い合わせ専用メールアドレス info@hri.pref.hokkaido.jp

ご登録いただいた情報は、ニュースレターの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

発行：北海道立北方建築総合研究所企画指導室